

総務・産業常任委員会

(10月20日開催)

総務課

・日高東部消防組合様似支署の建替えに係る進捗状況の報告がありました。

現在発注中の業務は、消防庁舎基本設計業務で、本年5月1日に契約を締結し、本年12月20日までの委託期間で日本都市設計株式会社3、520万円で発注、建設予定地は旧西町第2団地跡地の西町108番地の1の町有地です。

設計の基本方針は、理念として「災害に強い安心・安全な町づくりの推進のための拠点づくり」、整備方針として「防災拠点施設として町民を守る庁舎」、「誰にでも親しまれる庁舎」、「健全な勤務環境を整えた庁舎」、「地域の特性と環境に配慮した庁舎」をあげています。

現時点での計画概要は、単に火災救出出勤の拠点というだけでなく、自然災害時の対

策本部や避難者収容スペース拠点、防災備蓄庫を備えるなどの防災機能を有した施設との説明があり、委員からは、財政計画、詳細な図面の要望、スポーツセンターを絡めての避難所の在り方、下水道施設について意見、質問がありました。

(11月20日開催)

建設水道課

・下水道事業の公営企業会計への移行について説明がありました。これは、下水道事業等が将来にわたり安定的に提供していくための経営基盤強化と財政マネジメント向上が求められ、効果として経営状況の明確化、適正な財産管理が出来るとの説明があり、委員からは事務量増の懸念、移行の必要性、管内各町の実情等について意見、質問がありました。

・令和5年10月5日発生の大雨による公共土木施設災害復旧工事費の補正について説明がありました。町管理の河川3か所、橋梁3か所

で6億2千700万円の災害復旧費工事請負費、公共土木施設災害復旧費負担金5億160万円となっており、委員からは、対象外の小さい災害の復旧、大海辺線のう回路等の通行止め対応について質問や意見がありました。

・栄町団地建替え工事基本設計について説明がありました。整備計画では、令和6年度から令和8年度において各2棟4戸、令和9年度は1棟2戸で、1LDK7戸、2LDK5戸、3LDK2戸と

なっています。住宅機器の熱源については、FF式灯油給湯ボイラー、木質バイオマスチップ利用のエネルギーセンターとなっており、エネルギーセンター完成までの間は、FF式灯油ストーブを町が設置すると説明があり、委員からは、ボイラーの制御システム、木質バイオマスチップの費用対効果、エアコン設置、エネルギーセンターの完成時期、住宅困窮者の把握、交通弱者の対応、家賃・燃料

費入居者負担について質問や意見がありました。

産業課

・浜平宇幹線開設工事に係る労働災害等の発生について説明がありました。

事故発生は、令和5年10月24日(火曜日)14時30分頃で、ロードローラーを方向転換させようとして、盛土法面に逸脱し、ロードローラーが横転し頭部に接触したことによる脳挫傷により死亡。

委員からは、事故発生時の発注者への報告方法について質問がありました。

・災害による2路線の災害復旧費の補正予算。

1路線目は、松岡奥新富線(1路線1か所56m)で補正金額5千992万5千円、2路線目は、オロマツ線(1路線6か所359m)補正金額7千110万円で、委員からは、通行止めの際、看板設置時の表記内容等について要望がありました。

総務課

・人事院勧告の概要について。一般職(大卒程度)の初任給

1万1千円引き上げ。

一般職(高卒程度)の初任給1万2千円引き上げ。

期末勤勉手当

0.10月分引き上げ年間4.40月から4.50月に、

定年前再任用短時間勤務職員は0.05月分引き上げ年間2.30月から2.35月に。

実施時期は、月例給は令和5年4月1日、手当は令和5年12月1日、令和6年4月1日。

以上、7件について審議。



社会・文教常任委員会

令和5年度 全国

学力・学習状況調査の結果について

結果について

4月18日、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、小学校は国語、算数、中学校は国語、数学、英語について学力学習状況調査が行われました。以下の通り、いずれも全国平均を下回る結果となっています。これについては、児童生徒への質問の結果より、家庭での学習時間が少ないというのが明確な課題であること、また浦河高校やえりも高校の倍率が低く、勉強をしながらも高校へ行けるという認識が要因と考えられます。来年度は、今年度の結果を踏まえた取り組みについてと、その効果をまとめた形で報告を頂くことになりました。

Table with 6 columns: Average Correct Rate %, Language, Arithmetic, Average Correct Number, Language Questions, Arithmetic Questions. Rows include National, Hokkaido, Similar Small, and National Difference.

Table with 7 columns: Average Correct Rate %, Language, Math, English, Average Correct Number, Language Questions, Math Questions, English Questions. Rows include National, Hokkaido, Similar Middle, and National Difference.

オンライン公設塾利用者アンケート結果について

オンライン公設塾は、国語と算数・数学の2教科で、小学5年生から中学3年生までを対象に、今年5月に開始されました。現在42名、対象学年の約3分の1が利用しています。利用者の満足度は高く、7割以上が継続を希望しているとのこと。

8割近い回答者が教科を増やしてほしいと望んでおり、半数以上が英語を希望しています。また、オンライン公設塾以外の取り組みについては、第一に、英語検定、漢字検定等への助成拡充、第二に、オンライン

ではない集合や対面での指導、第三に、様似で受験できる模擬試験を望む声が多いということでした。アンケートの回収率は52.4パーセントでした。

浦河赤十字病院への

経営支援について

経営支援に関する要望は、令和2年8月12日付で、浦河赤十字病院より日高町村会長宛てに提出されました。助成の要請は、救急外来に係る出張医経費、1億3,000万円、産婦人科、麻酔科の出張医経費、7千400万円の補助として、合計2億400万円を上限とする、というものでした。

助成に関し、浦河赤十字病院は日高の中核病院であり、一次医療圏としての拠点であること、医療体制の縮小に伴う影響を考慮し、上限を2億400万円、助成期間は令和5年度から7年度までの3年を一区切りとする、という基本的考え方が示されました。

審議した案件

11月24日

◆令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

◆オンライン公設塾利用者アンケート結果

◆浦河赤十字病院への経営支援

以上、3件について審議。